

第49回 神奈川県消化器病医学会総会

プログラム・抄録集

〔日 時〕 平成28年11月12日(土)

12:00～17:25

〔場 所〕 新横浜プリンスホテル 4階「桜川」

〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4

TEL：045-471-1111(代表)

当番世話人：日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター 教授
鈴木 英之

主 催：神奈川県消化器病医学会

お知らせ

拝啓

神奈川県消化器病医学会は、昭和37年5月に実施医家を中心として誕生した学会です。

私も平成20年10月より神奈川県消化器病医学会の会長を引き継がせて頂き、約7年経ちました。神奈川県消化器病医学会は財務上の面からもようやく軌道に乗ってきたのではないかと思います。これも会員の皆様方のお陰だと思えます。今後とも宜しく願い申し上げます。

毎年、研究会と総会を交互に行っており、春には実施医家の先生方に県内各6地区に順番に研究会の当番世話人をお願いしており、秋には大学の教授の先生方に総会の当番世話人をお願いしております。

第49回神奈川県消化器病医学会総会は日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター 教授 鈴木英之先生に当番世話人をお願いしました。一般演題が17題で、特別講演はNTT東日本関東病院内視鏡部 部長 大圃研先生に「消化管の内視鏡治療の進歩 ～ESD、そしてその先に～」についてお話をさせていただくことになりました。また、ワークショップは「拡大内視鏡検査のUp to date」のテーマにて、座長は総合川崎臨港病院の渡邊嘉行先生と聖マリアンナ医科大学東横病院の中嶋孝司先生をお願いしました。最新の話話が聞けるのを楽しみにしています。

会員の先生方にも今回の内容にご満足頂けるのではないかと考えております。最近の一般演題は興味深い症例発表が多く、若手医師の発表の場のようになっていますので是非とも会員の先生にも積極的なご参加・ご指導をお願い申し上げます。今後も会員の先生方にきめ細かい配慮を行っていかうと思っておりますので宜しくお願いします。

平成28年11月吉日

敬 具

神奈川県消化器病医学会

会 長 峯 徹 哉

事務局 〒259-1193 伊勢原市下糟屋143

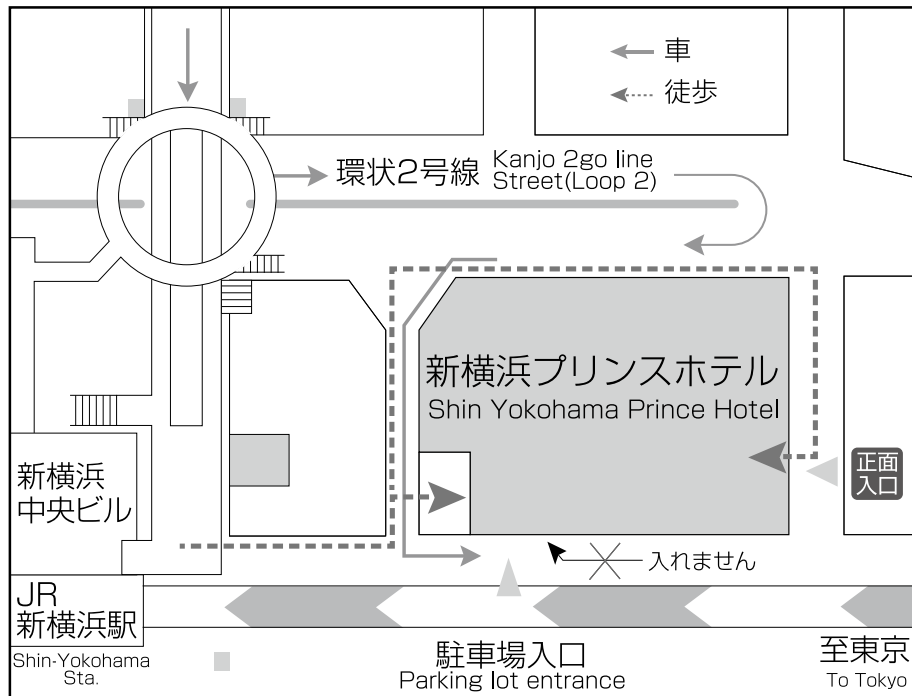
東海大学医学部内科学系消化器内科学 領域主任教授室

TEL：0463-93-1121

FAX：0463-91-5621

案内図

新横浜プリンスホテルのご案内



〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4

TEL：045-471-1111（代表）

〔交通〕 ◎電車で

JR・横浜市営地下鉄（ブルーライン）

「新横浜駅」から徒歩 約2分

◎車で

東名高速道路「横浜青葉I.C.」 約25分（平常時）

第三京浜道路「港北I.C.」 約5分（平常時）

羽田空港より直行バス 約40分（平常時）

◎駐車場

台数に限りがありますが、新横浜プリンスをご利用下さい。

※当日は周辺道路の混雑が予想されます。なるべく公共交通機関をご利用下さい。

<会員の皆様へのご連絡>

○当日会場整理費として1,000円を徴収させていただきますのでご了承下さい。

○年会費未納の方、当日受付にてお納め下さい。

日本医師会生涯教育講座 取得単位 5単位

カリキュラムコード・08：感染対策

21：食欲不振

27：黄疸

53：腹痛

54：便通異常（下痢・便秘）

＜演題発表に関するご注意＞

- 1) 一般演題の講演時間は7分とし、講演5分、質疑2分とします。
- 2) 発表は全てパソコンを使用する形式といたします。つきましては、パソコンによる発表の方法を以下の通りご案内申し上げます。

事務局ではプロジェクターを準備いたしますので、発表者はパソコン本体及びUSBメモリ・CD-Rメディアをお持ち下さい。

【パソコン使用上の注意事項】

①パソコンについての確認・必須事項

- ・会場にはWindowsパソコンを準備いたします。
- ・Macintoshパソコンの場合はパソコン本体ならびにアダプターをお持ち下さい。
- ・XGA以上の解像度を外部出力可能な機種をお持ち下さい。
- ・お持ち込みの場合は、バッテリーおよびACアダプター（電源コード）をお持ち下さい。
- ・本体に外部出力用端子（アナログD-sub ミニ 15ピンRGB端子）が付いている事をご確認下さい。無い場合は付属の外部接続用変換ケーブルをお持ち下さい。
- ・発表するDATAは全て（動画のリンク等も含め）すぐわかる位置に保存してある事を確認して下さい。
- ・スクリーンセーバー等の設定をお切り下さい。また、自動で立ち上がるウイルス対策ソフト等の設定もお切り下さい。
- ・パソコン立ち上げ時のpassword設定は解除しておくか、PCオペレーターにその旨ご教示下さい。

②学会準備PC環境（他のPCにて動作確認を行って下さい。）

- ・画面サイズ：XGA（1,024 × 768）
- ・OS：Windows 7
- ・アプリケーション：Power Point 2003, 2007, 2010, 2013
- ・使用フォント：Windows標準搭載フォント（MSゴシック、MS明朝、Times New Roman、Arialなど）
- ・データ容量：10MB程度（動画データがある場合は50MB程度）
- ・搭載ドライブ：DVD-RAM、CD-R

③パソコンの確認には時間がかかりますので発表時間の30分前にはPC受付にて確認をお済ませ下さい。

- 3) 抄録は神奈川医学会雑誌に掲載いたします。抄録に変更がある場合は再提出して下さい。再提出の場合は以下の要領をお願いします。

- ①抄録はA4版縦の横書き（20×20字の400字）でワープロ作成して下さい。
- ②所属、演者名含め600文字以内でまとめて下さい。

14:25～14:55 コーヒーブレイク時に別室4階「若菜」にて評議員会を開催いたします。
評議員の先生方のご出席くださるようお願いいたします。
また、コーヒーブレイク時に会場にてお飲み物をご用意いたします。

展示のご案内

展示時間：12:00～17:25

展示場所：新横浜プリンスホテル 4階 学会会場前ロビー

オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

科研製薬株式会社

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

富士フィルムメディカル株式会社

ミヤリサン製薬株式会社

評議員会開催のお知らせ

日時：11月12日(土) 14:25～14:55

場所：新横浜プリンスホテル 4階「若菜」

第49回 神奈川県消化器病医学会総会

◆ 総合事務局 (日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター)

統括責任者 鈴木 英之

(日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター 教授)

TEL：044-733-5181 (代表)

◆ 総会事務局 (当日)

新横浜プリンスホテル 4階 419号会議室

TEL：045-471-1111 (代表)

開会挨拶 12:00 ~ 12:05

神奈川県消化器病医学会 会長 峯 徹哉 先生

ランチョンセミナー 12:05 ~ 12:50

座長 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター 教授 鈴木 英之 先生

「GERD 診療における最近の話題～ PRO から Barrett 食道癌まで～」

東北大学病院 消化器内科 准教授／

消化器内視鏡センター センター長 小池 智幸 先生

共催：第一三共株式会社

アストラゼネカ株式会社

一般演題『肝胆膵』 13:00 ~ 13:45

座長 聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 中原 一有 先生

① 自己免疫性肝炎による肝硬変症に肝細胞癌が発生した一症例

たらお内科・消化器科¹⁾

神奈川県立がんセンター 消化器内科²⁾

横浜市立市民病院 消化器内科³⁾

子安脳神経外科クリニック⁴⁾

○多羅尾和郎¹⁾、手塚 瞬²⁾、守屋 聡²⁾、小林 智²⁾、森本 学²⁾、
大川 伸一²⁾、角田 裕也³⁾、小池 裕司³⁾、小松 弘一³⁾、子安 英樹⁴⁾

② オクトレオチドシンチグラフィーが有用であった膵神経内分泌腫瘍の一例

北里大学医学部 消化器内科学

○蓼原 将良、金子 亨、宮田 英治、山内 浩史、奥脇 興介、
岩井 知久、今泉 弘、木田 光広

③ 高度肝硬変合併肝細胞癌症例（肝障害度 B,C）に対する完全腹腔鏡下肝切除術
—肝障害度 A 症例との比較検討—

帝京大学医学部附属溝口病院外科¹⁾

埼玉医科大学国際医療センター消化器外科²⁾

○宮澤 光男^{1,2)}、合川 公康²⁾、渡部 真人¹⁾、平能 康充¹⁾、小林 隆司¹⁾、
内藤 善久¹⁾、奥村 武弘¹⁾、丸野 要¹⁾、春日井 尚¹⁾、谷口 桂三¹⁾、
藤野 昇三¹⁾

④ Epstein-Barr virus 感染に関連した脾原発炎症性偽腫瘍の 1 例

横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学¹⁾

同 病理診断科・病理部²⁾

○清水 康博¹⁾、平谷 清吾¹⁾、熊本 宜文¹⁾、三宅 暁夫²⁾、矢後 彰一¹⁾、
山口 和哉¹⁾、押 正徳¹⁾、高橋 智昭¹⁾、藪下 泰宏¹⁾、澤田 雄¹⁾、
森 隆太郎¹⁾、松山 隆生¹⁾、秋山 浩利¹⁾、遠藤 格¹⁾

⑤ 多発肝細胞癌にたいしてソラフェニブにTACE/TAIを併用した集学的治療により長期生存が得られている1例

済生会横浜市南部病院

○遠藤 和樹、所 知加子、中森 義典、三村 秀樹、近藤 新平、
張 優美、金田 義弘、池田 礼、稲垣 尚子、山田 英司、
渡邊誠太郎、京 里佳、菱木 智、川名 一朗

⑥ ERCP下CT検査が診断・治療に有用であった多発性肝嚢胞による胆管炎の一例

東海大学医学部 内科学系消化器内科学¹⁾
同 専門診療学系画像診断学²⁾

○吉原 四方¹⁾、鶴谷 康太¹⁾、小玉 敏生¹⁾、安齋 和也¹⁾、広瀬 俊治¹⁾、
関口 達也²⁾、原 拓也²⁾、小泉 淳²⁾、加川 建弘¹⁾、峯 徹哉¹⁾

ワークショップ _____ 13:45 ~ 14:25

『拡大内視鏡検査のUp to date』

座長 総合川崎臨港病院 院長 渡邊 嘉行 先生
聖マリアンナ医科大学東横病院 副院長 中嶋 孝司 先生

W① Endocytoscopyを用いたコンピューター自動診断システムによる大腸浸潤癌の診断

昭和大学横浜市北部病院消化器センター

○武田 健一、工藤 進英、森 悠一、三澤 将司、工藤 豊樹、
若村 邦彦、片桐 敦、馬場 俊之、日高 英二、石田 文生

W② 当院におけるHelicobacter pylori除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴に関する検討

横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学¹⁾
同 医学教育学²⁾

○野中 敬¹⁾、有本 純¹⁾、稲生 優海¹⁾、冬木 晶子¹⁾、日暮 琢磨¹⁾、
大久保秀則¹⁾、飯田 洋²⁾、稲森 正彦²⁾、中島 淳¹⁾

W③ H.pylori除菌後胃癌における拡大内視鏡

東海大学医学部付属病院 消化器内科

○中原 史雄、水上 創、木嶋麻衣子、内田 哲史、五十嵐宗喜、
小池 潤、松嶋 成志、峯 徹哉

W④ 当科におけるThe Japan NBI Expert Team (JNET) 分類に対するvalidation study

日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター¹⁾
日本医科大学消化器外科²⁾

○千原 直人¹⁾、鈴木 英之¹⁾、渡辺 昌則¹⁾、吉野 雅則¹⁾、三浦 克洋¹⁾、
豊田 哲鎬¹⁾、清水 貴夫¹⁾、小山 裕司¹⁾、内田 英二²⁾

_____ [コーヒーブレイク] (14:25 ~ 14:55) _____

総会 14:55 ~ 15:05

神奈川県消化器病医学会 会長 峯 徹哉 先生

特別講演 15:05 ~ 15:55

座長 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター 教授 鈴木 英之 先生

「消化管の内視鏡治療の進歩 ~ ESD、そしてその先に~」

NTT東日本関東病院 内視鏡部 部長 大圃 研 先生

一般演題『合併症』 15:55 ~ 16:25

座長 横浜市立大学付属市民総合医療センター

消化器病センター 虫明 寛行 先生

⑦ HCCに対するRFA施行後に閉塞性黄疸を発症し減黄処置を要した一例

横浜南共済病院 消化器内科

○富吉 圭、桑島 拓史、鈴木 良優、三井 智広、佐野 裕亮、
高木 将、飯塚 千乃、中山 沙映、小串 勝昭、福島 泰斗、
有馬 功、濱中 潤、金子 卓、岡 裕之、岡崎 博

⑧ 胆管 plastic stent 留置後に消化管穿孔をきたした一例

神奈川県立がんセンター 消化器内科

○戸塚雄一朗、小林 智、上野 誠、廣谷あかね、手塚 瞬、
守屋 聡、大川 伸一、森本 学

⑨ EUS-FNAにより遅発的に生じた穿刺リンパ節感染の1例

昭和大学藤が丘病院 消化器内科

○岩橋 健太、高野 祐一、宮尾 直樹、小林 孝弘、田淵 晃大、
吉田詠里加、東畑美幸子、上原なつみ、中西 徹、山村 詠一、
五味 邦代、黒木優一郎、井上 和明、長濱 正亞

⑩ 臍頭十二指腸切除後の腹腔内出血に対するTAEと肝血流

東海大学 消化器外科

○古川 大輔、矢澤 直樹、山田 美鈴、増岡 義人、益子 太郎、
藤城 健、中郡 聡夫

座長 帝京大学医学部附属溝口病院 外科 谷口 桂三 先生

⑪ 早期胃癌術後における十二指腸断端再発が疑われた一例

済生会横浜市南部病院 外科¹⁾

横浜市立大学附属病院 一般外科²⁾

○古波藏かおり¹⁾、林 勉¹⁾、須藤 友奈¹⁾、橋本 至¹⁾、
有坂 早香¹⁾、瀬上 顕貴¹⁾、嶋田 裕子¹⁾、高川 亮¹⁾、嶋田 和博¹⁾、
村上 仁志¹⁾、平川 昭平¹⁾、長谷川誠司¹⁾、福島 忠男¹⁾、池 秀之¹⁾、
今田 敏夫¹⁾、益田 宗孝²⁾、利野 靖²⁾

⑫ *Helicobacter pylori* 陰性の若年者に発生した胃型の低異型度分化型癌の1例

湘南藤沢徳洲会病院 肝胆膵消化器病センター

○永田 充、岩淵 省吾

⑬ 腹腔鏡手術で摘出し得た巨大毛髪胃石の1例

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター¹⁾

横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学²⁾

○田中 優作¹⁾、國崎 主税¹⁾、宮本 洋¹⁾、井口 健太¹⁾、佐藤 渉¹⁾、
小坂 隆司¹⁾、湯川 寛夫¹⁾、大田 貢由¹⁾、遠藤 格²⁾

⑭ Barrett 食道癌は本当に増えているのか

東海大学大磯病院 外科¹⁾

東海大学 消化器外科²⁾

東海大学³⁾

○西 隆之¹⁾、島田 英雄¹⁾、田島 隆行¹⁾、中村 知己¹⁾、新田 美穂¹⁾、
宮北 寛士¹⁾、大宜見 崇¹⁾、小澤 壯治²⁾、千野 修²⁾、葉梨 智子²⁾、
山本壮一郎²⁾、三朝 博仁²⁾、小熊 潤也²⁾、數野 暁人²⁾、宇田 周司²⁾、
山崎 康²⁾、二宮 大和²⁾、谷田部健太郎²⁾、幕内 博康³⁾

一般演題『下部消化管』———— 16:55 ~ 17:20

座長 太田総合病院 外科 関 英一郎 先生

⑮ 術前診断が可能であった Amyand ヘルニアの一例

帝京大学医学部附属溝口病院 外科

○藤田 正博、久保 博美、水野 真広、平能 康充、小林 隆司、
内藤 善久、奥村 武弘、春日井 尚、丸野 要、谷口 桂三、
藤野 昇三

⑯ 膿瘍形成を伴った壁外発育型大腸癌の1例

海老名総合病院外科

○針金 幸平、宮前 拓、去川 秀樹、萩原 英之、阿部 豊、
小泉 正樹、鎌田 順道

⑰ 腸閉塞を来した虫垂粘液嚢胞腺腫の1例

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター

○清水 貴夫、鈴木 英之、吉野 雅則、豊田 哲鎬、村木 輝

閉会の辞 17:20 ~ 17:25

当番世話人 日本医科大学武蔵小杉病院
消化器病センター 教授 鈴木 英之 先生